

NO.4 で取り上げる三書体は本校書道Ⅰのスクーリングでは学習しません。書道Ⅱで学習しますので、興味を持った人はぜひ選択してください。

草書は篆書・隸書を速書きするために生まれた書体です。しかし極限まで省略されているので、草書体を知っている人でないと読めないという難点があり、現代ではあまり使用されていません。隸書は篆書の複雑な点画を簡略化し、直線を主体とした実用書体として生まれました。その後登場した楷書に実用書体の地位を譲りほとんど使われることはありませんが、現代でも新聞や書籍の題字、表札・看板などに用いられています。皆さんが使用しているお札にも使われていますので、見てみてください。

篆書は漢字の五つの書体の中で最も古い書体です。紀元前1300年頃の甲骨文字から隸書が完成された漢時代頃までの千数百年間に様々に形を変えながら使用されてきました。身近にある書体ではありませんが、印章の文字や、デザイン性に富んでいるので商品パッケージなどに使われていることがあります。(某ラーメンチェーンの看板はなんちゃって篆書体です)

問 一	草書の問題です。教 P59～61 を見てください。 ② 「草書の特徴」をよく読み、必要な部分をまとめてください。 ③ 草書の古典から出題しています。草書の特徴を理解して自分で考えて答えても良いですが、教科書を隅から隅まで探して見つけてもらっても良いです。
問 二	隸書の問題です。教 P62～65 を見てください。 ① 後半の二行の問題は教科書に答えが載っていません！わたしのミスです。用語説明のページにその語句は載っていますので、見つけられた人は回答してみてください。ごめんなさい。
問 三	教 P54・55 を見てください。
問 四	今までのレポートの語句の問題とは違い、それぞれの語句を説明してもらいます。 教 P115～122 で調べて解答してください。